

心不全・心機能アカデミーコラボ企画

# 患者を救う！ 臨床ツールとしてのPV loop

大西 勝也（心不全・心機能アカデミー） / 朝 啓太（循環動態アカデミー）

PV loopを基礎的に勉強しても今一つ臨床につながらないという指摘がある。多くは本質的理解の不十分さからくる批判である一方、PV loopを実測することはたしかに高いハードルが存在する。本セッションでは、PV loopを想像する、測定することの重要性を症例や実験を基に議論していきたい。



# 心エコー図検査で考える循環動態

～エコーで見えるもの・見えないもの～

楠瀬 賢也（徳島大学 循環器内科） / 坂本 隆史（循環動態アカデミー）

さまざまな心エコー評価における革新は循環動態評価につながる。心エコーの基本原理に立ち返りつつ、日本の最先端心エコー解析から患者評価の本質に迫る！



# 今こそ考えよう！ 心拍数と血行動態

藤野 剛雄（九州大学） / 坂本 隆史（循環動態アカデミー）

イバフラジンの登場により心拍数の重要性が注目されている。心拍数は自律神経やホルモンの影響を受け変化し、血行動態を調節している。本セッションでは身近であるが奥が深い心拍数の世界を深堀する。



# CRT-Dを活用した 心不全モニタリングの現在と未来

長友 大輔（済生会福岡総合病院） / 坂本 隆史（循環動態アカデミー）

心不全パンデミック時代において心不全再入院を予防することは心不全治療の大きな目標の一つである。その早期診断は重要であり、植え込みデバイスを用いた試みがなされている。本セッションではCRT-Dを用いた心不全早期診断および先制治療について議論する。



# 循環器疾患の治療の前に診断を理解しよう

～失神診断のコツとICMの利用～

笠井 祐平（国保旭中央病院） / 坂本 隆史（循環動態アカデミー）

失神は日常診療でよく遭遇する疾患ですが、曖昧な診断で済ませていませんか？失神こそ循環動態の知識無くしては語れません。このセッションでは失神の病態生理と診断のアルゴリズム、植え込みデバイスを用いた診断法の最新の知見について議論したいと思います。



## 再考！ 循環動態視点の血圧の話

砂川 賢二（循環制御システム研究機構）

/ 奥村 貴裕（名古屋大学）、末松 保憲（福岡大学）

血圧は心血管機能の総合値であるが、血圧の絶対値および変動を循環動態視点で語られる場面は少ない。本セッションでは、今一度、循環動態視点で血圧を定義し、臨床で見ている血行動態パラメタと循環機能の関係を再考したい。



# Interventional heart failureスペシャリストによる Impella救命・心保護ストラテジー

那須 崇人（岩手医科大学） / 朝 啓太（循環動態アカデミー）

PV loopの基礎知識はすべてPVAと酸素消費につながる。血行動態保持とともにPVA縮小治療が可能になったImpellaは何をもたらすのか？実臨床をベースに議論する。また、昨今の循環器救急のスペシャリティとして求められつつある“Interventional Heart Failureスペシャリスト”についてその必要性や要素について考える。





## 心不全治療におけるCRTの進化

小鹿野 道雄（静岡医療センター） / 坂本 隆史（循環動態アカデミー）

心臓の同期性障害のあるHF<sub>r</sub>EFに対してCRTの有効性は大規模臨床試験で証明されガイドラインでも確立している。一方でその血行動態的な効果については考える機会が減っている。本セッションではCRTの血行動態的な効果について再考する。